

会 議 録

1 会議名

第12回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

- ・中学生との意見交換会（「浦川原いいところ探し」まとめ発表会）について

（3）市からの報告

- ・令和5年度浦川原区の主な事業と予算について
- ・3区中学校の統合の進捗状況について

○協議（公開）

（1）令和4年度の活動実績・振り返りと令和5年度の活動計画の検討について

（2）自主的審議事項の検討について

○その他（公開）

- ・浦川原区地域協議会だより第55号の発行について

3 開催日時

令和5年3月25日（土）午後3時45分から5時7分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：赤川義男、池田幸博副会長、小野正広、春日清美、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、藤田宏禎会長、宮川勇、村松進副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、大橋次長、竹田次長、産業グループ山本グループ長、滝澤主幹、建設グループ大島グループ長、市民生活・福祉グループ春日上席保健師長、教育・文化グループ山崎グループ長、総務・地域振興グループ

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者は10人。欠席者は相澤誠一委員、北澤誠委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：池田幸博副会長に依頼。

【藤田会長】

次第の「2 報告」の「(1) 会長報告」であるが、今回は持ち合わせていない。

続いて「(2) 委員報告」で、「中学生との意見交換会（「浦川原いいところ探し」まとめ発表会）について」、村松副会長から報告をいただく。

【村松副会長】

昨年11月、浦川原中学校1年生に月影雅楽、飯室神楽、保倉川太鼓をそれぞれ体験してもらい、中学生自身が考えたことを、3月9日に3団体に「まとめ」という形で発表した。

内容には大人が気付かない点などがあり、非常に驚いた。例えば、月影雅楽について、「練習場所が遠すぎる」、「もっと興味を持ってもらうために給食の時間に動画を流す」、「掃除の時間に演奏を流す」というもの、飯室神楽については「バッジやうちわなどのグッズを販売する」などの提案があった。保倉川太鼓についても、後ほど五井野委員から報告があると思うが、中学生目線での提案があった。今まで継続してきた中で最高の意見交換会だったのではないかと感じている。

それでは、五井野委員からも報告をお願いします。

【五井野委員】

私は地域協議会委員としてではなく、保倉川太鼓の会長として出席させていただいた。

昨年12月20日に地域協議会への発表があったが、今回は、その時の意見も反映され、更に深掘りした内容となっており、スライドにも手が加えられていた。また、自分たちで考えた結果を付け加えた内容になっていて、非常に中身の濃いものになっていると感じた。

当会に関しては、「和太鼓部を中学校に作ってはどうか」という提案があった。その場では即答できなかったが、中学生からそういった提案があったことは非常にうれしく感じたところであり、何か面白いことができないか、メンバーと話し合っている。他にも、太鼓の形をしたイメージキャラクターの作成や、「もっとこうしたら良い」ということなど、いろいろ

るな提案をしてもらった。

当日も申し上げたが、私にとっての保倉川太鼓は、地域の文化という認識はまだなく、趣味の段階であると思っていた。しかし、中学生の提案や話を聞いている中で、浦川原の文化として残していかなければならないという自覚が出てきたことが良かったと感じている。

その後、先生と話をさせていただいたが、次年度につながるような内容も聞くことができたので、学校と我々保倉川太鼓だけでなく、飯室神楽、月影雅楽の3団体で中学校を中心に、令和5年度に何か交流を深めることができそうな期待感が出てきている。きっと何か新しいことができるのではないかと考えている。

先ほど村松副会長が言われたように、過去、例を見ない中身の濃い意見交換会になったと思っている。

【村松副会長】

五井野委員の言われるように、本当に中身の濃いものとなったと思っている。2年生になっても続けていきたいという報告もあり、地域協議会として、できることがあれば協力していきたいと考えている。

【藤田会長】

保倉川太鼓では非常に重く受け止めたということだったが、他の2団体も同じような受け止め方ではないかと思っている。月影雅楽は存続が非常に危ういのではないかと感じており、団体が活性化できるような内容を村松副会長や五井野委員からお聞きしたので、地域協議会として聞きっぱなしということではもったいないと思っている。

この3団体で、横のつながりを持って何か活動するような方法があるのか。

【五井野委員】

北澤正彦委員が提案されている件だと思うが、例えば、令和5年度に連絡協議会的なものを立ち上げようという話にはなっていないが、自分たちでできることをやりながら、最終的には横のつながりを持った、浦川原全体を考えた文化団体として何かできればと思っている。

当日は、飯室神楽や月影雅楽の方たちも来られていて、神楽の方たちは、「先の見えないもやのかかった道を進んでいたが、すっきり晴れた」と言われていた。月影雅楽の岩崎さんも「なくすつもりはない。絶対につなげていく」という強い意思を示していたので、今回の中学生との交流は、大人の認識を改めるためにも意義があったと感じている。

【藤田会長】

私が月影地区協議会の会長を務めていた時、月影雅楽について、「中学校でも生徒数が減って教室が空いているので、放課後などに借り、そこで生徒に教えるようなことができない

か」と話をしたことがあった。そこで言われたのは、「今の学校でクラブ活動はできない。学校もクラブ数を減らそうとしているのに、何でそんなことができるのか」と言われたことがある。私としても、非常にその言葉が気になっていて、このままではいけないと思っていたところであったが、今の五井野委員の話をお聞きして、非常に前向きな姿勢を持っておられ、練習する人員の確保さえできれば、可能性はあると思った。是非、この3団体を大切にさせていただきたいと思っている。地域協議会としても何か協力できるものがあれば進めたいと考えているので、どんどん提案をお願いしたい。

他に意見、質問等ないか。

【北澤正彦委員】

先月、やっと3団体との意見交換をさせていただいた。当初、Aグループの中でも月影雅楽に関しては状況がかなり厳しいということで、活動に対して疑問符が付いていた。コロナの影響で練習も少なく、皆さんに見ていただける機会も余りない状況であったが、2年半ぶりくらいにメンバーが集まって総会が開催され、その会に私も呼んでいただいて、そこで皆さんの話をお聞きしたところである。

結果としては、皆さん前向きで5月から活動が始まるとのことで、とにかくメンバーを増やしていかななくてはならないということだった。五井野委員の言われたように、3団体で今すぐ何かやるという方向性は出せないかもしれないが、決して悪い方向ではなく、藤田会長の言われるように、良い方向へ動き出していると私は理解している。もう少し団体の皆さんと話を詰めて、良い形にしていきたい。お金、人、物が必要となってくるため、その時点で、きちんと教育委員会や地域協議会の力を得ながら進めていきたいと思っている。

【藤田会長】

他に何かないか。

(会場内から「なし」の声)

続いて「(3)市からの報告」で「令和5年度浦川原区の主な事業と予算について」、事務局に説明をお願いします。

【大橋次長】

(当日配付資料に沿って各担当グループから説明)

【藤田会長】

今の説明に対して、質問、意見等があれば受ける。

私から、3ページ目の「鳥獣害対策」と「鳥獣害対策(イノシシよけ網の設置)」について、予算額が入っていないのは無制限ということなのか。

【産業グループ山本グループ長】

鳥獣害対策については、先ほども申し上げたとおり、浦川原区の予算ではなく、上越市鳥獣被害対策協議会の予算で全市が対象であり、この協議会の総会で令和5年度の予算の承認を受けることになる。ただ、事業内容がおおむね明らかとなったため、この中で浦川原区に関係する部分のみを抜粋させていただいたものである。

【藤田会長】

了解した。

4ページ目の「浦川原区道路維持費」で「道路施設維持管理業務委託」が記載されているが、側溝の管理等はこれに含まれているのか。

【建設グループ大島グループ長】

業者がパトロールに回った際に、側溝などに泥などが詰まって水が流出している場合は除去作業を行っている。

【藤田会長】

熊沢町内では、側溝に泥が溜まっていて、大雨が降った際にあふれてしまうという問題が出てきている。そういった部分も含めてチェックしていただきたいと思っている。

【建設グループ大島グループ長】

了解した。

【藤田会長】

他にないか。

(会場内から「なし」の声)

続いて、「3区中学校統合の進捗状況について」教育・文化グループの山崎グループ長に説明をお願いする。

【教育・文化グループ山崎グループ長】

(当日配付資料に沿って説明)

全体会議及び校名・校歌・校章部会には宮川委員も出席されていたので、何か補足があればお願いしたい。

【宮川委員】

私からは特にはない。

【藤田会長】

皆さんから意見、質問等があれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

続いて、事務局から地域活動支援事業の変更申請の承認決定について報告をいただく。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

12月20日と1月31日に、それぞれ完了予定日の変更申請があり承認した。各団体と完了予定日をいつにするか協議してきたため、地域協議会への報告が遅れたものである。

1件目は、「月影の郷運営委員会」による「宿泊体験交流施設月影の郷イベント事業」についてである。同団体から、12月20日を完了予定日としていたが、記録写真、動画編集作業において、発注先業者に加えて多数の運営スタッフが所有する写真等をまとめる作業に時間を要しているため、完了予定日を2月28日に変更したいという申請を受けた。

今回の変更に伴って事業の目的達成や効果に影響はないと判断したため、地域協議会への協議は不要として同日付けで変更を承認した。

2件目は、「NPO法人夢あふれるまち浦川原」による「和山・観音堂トレッキングコース整備促進事業」についてである。同事業は、昨年11月30日付けで当初の完了予定日である10月31日を1月31日に延長し、1月6日のパンフレットの納品をもって全ての取組を完了したが、印刷費の支払いを完了していないことが判明したため、完了予定日を2月28日に延長したいとの申請を受けた。

今回の変更に伴って、事業の目的達成や効果に影響はないと判断したため、地域協議会への協議を不要として同日付けで変更を承認した。なお、いずれの事業も2月28日までに事業を全て完了し実績報告書を受理している。

【藤田会長】

今の説明について、意見、質問等があれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

次に「3 協議」の「(1) 令和4年度の活動実績・振り返りと令和5年度の活動計画の検討について」である。令和4年度の活動実績を振り返っていただき、令和5年度の活動計画の検討をお願いしたい。なお、令和5年度の活動計画は、今回で全てを決定するのではなく、皆さんから意見をいただき、次回の地域協議会でまとめていきたいと考えている。

それでは、「1 自主的審議」についてと、「(2) 自主的審議事項の検討について」は関連しており、A・Bグループがある。それでは、Aグループの池田副会長から願います。

【池田副会長】

先ほど、中学生との意見交換会の報告の中で北澤正彦委員から話があったが、3月14日(火)に第9回のグループワークを開催した。

月影雅楽、飯室神楽、保倉川太鼓の文化の伝承について進めており、保倉川太鼓からは3

団体でまとまっていくことに賛成をいただいている。飯室神楽に関しては、「趣旨には賛同できるが、できることは限られる」という姿勢であった。月影雅楽は、「5月から月2回のペースで活動を再開する予定」と聞いている。飯室神楽については、春日委員からも協力していただいているが、大変デリケートな部分もあり、10月15日（日）の月影芸能まつりにおいて、3団体から発表してもらう場を作ることを目標に話を進めている。

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等があれば受ける。

（会場内から「なし」の声）

次にBグループについて報告させていただく。大きく2つの項目について、3月23日にグループワークを行った。

一つは、ほくほく線の活性化について、前回の地域協議会で意見書の回答をいただいた。意見書の中に浦川原区で自主的に実施していく項目が2つあり、主にうらがわら駅や虫川大杉駅でのイベント等の実行部隊をどうするかという部分で、たたき台を立案していくことになると思っている。実施事業者をお願いするまでが地域協議会としての仕事、責任だと思っており、大変大きな作業になると思うが、計画をきちんと立てていきたい。

もう一つは、牧区と安塚区において予約型コミュニティバスの実証運行が実施されており、市の交通政策課から昨年10月から今年2月までの状況を報告していただいた。

委員からは、「例えば安塚や大島から区をまたいで大型店のある浦川原区まで行きたいとなった場合どうなるのか」などの質問があった。今後、実施事業者として浦川原タクシーや東頸バス、他の事業者などの検討を進めていかなければならないと思っている。

この件について、意見、質問等があれば受ける。

（会場内から「なし」の声）

次に「2 地域活性化の方向性」の作成について、予算の関係もあり、令和5年度計画の欄には、「8月を目途に作成」とある。これで良いか。

（会場内から「はい」の声）

次に「3 出張地域協議会」について、順番で行くと末広地区になると思うが、受け入れ地区の都合もあると思うので、おおむね10月を目途に調整していくことでよいか。

（会場内から「はい」の声）

次に「4 中学生との意見交換会」についていかがか。

【村松副会長】

浦川原中学校としては最後の年であり、令和5年度も意見交換会を実施したほうが良いと

思っている。課題について皆さんと話し合いながら詰めていきたい。

【藤田会長】

やはり1年生を対象にするということで良いか。

【村松副会長】

そうである。

【北澤正彦委員】

実行委員の中で方向性が決まっていくと思うが、1年生から3年生の全生徒を対象とする
ことも考えていただきたい。3年生が受験等で忙しいということであれば1・2年生対象で
も良いが、浦川原中学校として最後であり、内容をもう少し精査した中で、対象範囲を決め
ていくべきではないかと思っている。

【村松副会長】

以前校長先生から、「3年生は受験で、2年生は修学旅行などで時間が取れないので、1
年生を対象にしてほしい」という話があり、学校の希望に沿って1年生を対象としている。

今年の1年生が2年生になっても引き続き続けていきたいと思っているとのことなので、
学校と協議して、こちらの希望を伝えていきたい。

【藤田会長】

続いて、6ページの「5 研修会の開催」であるが、大浦安合同研修会について、来年度
は浦川原区が担当となっている。今年度の大浦安合同研修会は、正直申し上げて、事業の消
化のために開催したような印象があり、来年度はもう少し時間をかけて重いものにしていき
たいと考えている。日程についても、2月の雪の大変な時期ではなく、もう少し早い時期に
開催したいと思っている。浦川原区の研修会も、もう少し早い時期に実施したいと思ってい
る。

内容について、大浦安合同研修会については腹案があるが、浦川原区の研修会についての
腹案はない。次回までに事務局と話し合っって案を提出するということが良いか。

(会場内から「はい」の声)

【北澤正彦委員】

次回の地域協議会で委員から「こういったことをしてもらいたい」「こういった研修が良
いのではないか」といった提案があれば、受け付けていただけるのか。それとも4月の地域
協議会の時点で、実施内容を決めなければならないのか。

【藤田会長】

相手のあることであり、ある程度の方向性は決めなければならないと思っている。

【北澤正彦委員】

それでは、委員から事務局へ提案しても良いと解釈してよいか。

【藤田会長】

それでよい。

【北澤正彦委員】

了解した。

【藤田会長】

所長、何かあるか。

【佐藤所長】

研修会の開催時期やテーマを決めてから講師を選出する流れになると思っている。4月18日に正副会長会議があるため、17日までに事務局へ提案をいただきたい。

【藤田会長】

それでは、何か案があれば17日までに事務局へ提出をお願いします。

(会場内から「はい」の声)

続いて、次第の「4 その他」で「浦川原区地域協議会だより第55号の発行について」、本日、資料として配付している。今号は村松副会長、相澤委員、赤川委員、杉田委員の4人に担当してもらっており、広報上越4月号に合わせて全戸配布されている。

次に、事務局から連絡事項等があればお願いします。

【建設グループ大島グループ長】

建設グループから、旧浦川原運動広場跡地における三和安塚道路の建設土砂の仮置きについて、2月の地域協議会で報告させていただいたが、土砂の搬出入について、県から2点変更の連絡があったので報告させていただく。

1点目は、当初国道253号から進入して県道柿崎牧線へ退出する予定であったが、国道253号より交通量が少ない県道柿崎牧線から搬入、搬出することとなり、原則253号側からは出入りしない計画に変更された。なお、県道柿崎牧線が渋滞しないよう旧運動広場内に車両が待機するスペースを設置するとのことであった。

2点目は、土砂の運搬ルートについて、当初、建設現場から末広橋を渡って国道253号を走行して旧浦川原運動広場へ運搬し、同じ運搬ルートで建設現場へ戻る計画であったが、建設現場から国道253号の間での大型車両のすれ違いを回避するため、建設現場からの搬出は今熊地内から末広橋を渡って253号を走行し、帰りは、国道253号から三和区末野地内の市道を経由して建設現場に戻る計画に変更することになった。よって、新たに関係す

る三和区の町内会、学校へも周知するようお願いしたところである。

報告は以上である。

【藤田会長】

今の報告について、意見、質問等あれば受ける。

【赤川委員】

ダンプが稼働している時間が分かれば教えていただきたい。

【建設グループ大島グループ長】

予定として、午前8時から午後5時までと聞いている。

【赤川委員】

了解した。

【藤田会長】

正副会長会議でもお聞きしたが、1日に何台くらい稼働するのか。道路の傷みなどはどうなのか。

【竹田次長】

運搬は市道が中心となるが、台数が多いと道路の損傷も多くなってくると思われる。新潟県には、工事が終了した時点で修繕のお願いをしていくことになる。

【藤田会長】

続いて、「5 次回の日程」について、令和5年度第1回地域協議会は4月25日火曜日、午後6時から浦川原コミュニティプラザで行う。

これで、第12回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。